

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新潟大学教育学部附属長岡中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒940-8530  
新潟県長岡市学校町1丁目1番地1号

E-mail : kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp

Website : http://www.nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp/

児童生徒数：男子 171名 女子 191名 合計 362名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域の産業，少子高齢社会）

#### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校園では、『社会的な知性を培う』を研究主題とし、幼小中一貫教育に取り組んでいる。『社会的な知性』とは、現代社会の様々な問題に主体的にかかわりながら、従来の枠組みにとらわれず、新たな発想で他者と手を携えながら解決していける人材が備えるべき問題解決能力であり、それを「持続可能な社会を創り上げる資質・能力」としている。この資質・能力を育むため、「社会創造科」を設置し、「有限性」や「多様性」といった「持続可能な社会を創り上げるための重要概念」と「持続可能な社会を創り上げる活動に関する技能」を学習内容として設定して、持続可能な社会を創り上げる姿の具現に取り組んでいる。

また、幼小中12年間で5つのステージに分けており、中学1年生は第4ステージ(小学5・6年も含む)、中学2・3年生は第5ステージに該当する。そこでは、地域の問題に着目し、異学年とともに地域へ出かけて、地域で問題解決に取り組む地域の方とともに多様な活動を行う。

生徒が追究するテーマは「ブランド(地域の物産や企業)」「自然環境・環境保全」「まちづくり」「コミュニティ」の4つに分かれる。生徒は、自分の問題意識に沿うテーマを選択して追究をすすめる。

1年生は、主に地域の問題解決に取り組む方のお話を聞いたり、地域の様々な施設などを訪問・見学したりして、自分たちが考える問題点について考えを深めたり、問題の解決策を提案したりする。

2・3年生は、同じ問題意識をもつ仲間と少人数のグループ(2・3年生が混在する)を結成し、6月～10月にかけて、それぞれの着目した問題について、地域で活動している方と手を携えて解決に向けた活動を展開していく。(今年度活動例：子育て施設での交流イベントや防災意識向上に向けたイベントの企画運営、地域の特産を生かした商品開発や地域の伝統を伝えるための絵本やチラシの作成など)

第5ステージでは、今年度は40あまりのグループが地域の団体や企業などと協働して活動を行った。活動の成果は、オープンスクールの機会に地域の方や保護者を招いてポスターセッション形式で発信、共有している。

このような活動の中で、生徒は先述した2つの学習内容を獲得するとともに、持続可能な社会を実現するための資質・能力を高めている。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )